事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	新湧
-----------------	-------	-----	-----	----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,041,288 千円	
年 効 用		172,902 千円	
廃用損失額		7,187 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,938,333 千円	
費用便益比	= ÷	1.44	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	24,056	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単位収量の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆
	品質向上効果	2,485	客土による水稲の品質向上 対象作物:水稲
営農経費の節 減	営農経費節減効果	32,796	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆
	維持管理費節減効果	57,862	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	55,703	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
	計	172,902	

事業名  経営体育成基盤整備	都道府県名	北海道	地区名	川下
----------------	-------	-----	-----	----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,200,293 千円	
年 効 用		73,573 千円	
廃用損失額		3,011 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,409,139 千円	
費用便益比	= ÷	1.17	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	11,368	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単位収量の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆
営農経費の節 減	営農経費節減効果	16,987	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆
	維持管理費節減効果	6,894	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	38,324	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
	計	73,573	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	篠津
-----------------	-------	-----	-----	----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,605,185 千円	
年 効 用		113,402 千円	
廃用損失額		83,504 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,064,261 千円	
費用便益比	= ÷	1.29	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	6,836	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単位収量の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆
営農経費の節 減	営農経費節減効果	7,377	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆
	維持管理費節減効果	14,601	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	84,588	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
	計	113,402	

事業名  経営体育成基盤整備	都道府県名	北海道	地区名	大願東
----------------	-------	-----	-----	-----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,365,000 千円	
年 効 用		105,851 千円	
廃用損失額		3,649 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		32 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0577	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,830,857 千円	
費用便益比	= ÷	1.34	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	14,543	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単位収量の増加 対象作物:水稲、たまねぎ、小麦 大豆、馬鈴薯
営農経費の節 減	営農経費節減効果	19,491	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、たまねぎ、小麦 大豆、馬鈴薯
	維持管理費節減効果	35,548	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	36,269	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
	計	105,851	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,928,347 千円	
年 効 用		128,994 千円	
廃 用 損 失 額		216,125 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		34 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,083,233 千円	
費用便益比	= ÷	1.08	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	18,431	水田の排水改良等による単位収量の 増加 対象作物:水稲、牧草、きゅうり、トマト
営農経費の節 減	営農経費節減効果	23,461	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、牧草、きゅうり、トマト
	維持管理費節減効果	11,549	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	53,266	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
地域の生活環 境の保全・向 上	安全性向上効果	808	関連事業により整備される施設周辺 の安全施設設置による効果
	河川流況安定効果	21,275	関連事業で整備される施設により河 川への影響が低減される効果
	地域用水効果	125	関連事業で整備される施設によりか 農作物等の洗浄、防火用水等で用水 を利用する効果
	水辺環境整備効果	79	関連事業により整備される施設周辺 の環境整備による効果
	計	128,994	

事業名 経営体育成基盤整備 都道府県名 北海道 地区名 内園	
--------------------------------	--

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,573,735 千円	
年 効 用		150,851 千円	
廃用損失額		93,741 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		40 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0521	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,801,672 千円	
費用便益比	= ÷	1.09	

- ·				
項	目	年効果額(千円)	効果の内容	
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	19,303	水田の排水改良等による単位収量の 増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆他	
営農経費の節 減	営農経費節減効果	16,700	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆他	
	維持管理費節減効果	16,188	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路	
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	87,841	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路	
地域の生活環境の保全・向	安全性向上効果	3,715	関連事業により整備される施設周辺 の安全施設設置による効果	
上	文化財発見効果	211	関連事業で整備される施設における 文化財に関する効果	
	河川流況安定効果	6,789	関連事業で整備される施設により河 川への影響が低減される効果	
	地域用水効果	3	関連事業で整備される施設によりか 農作物等の洗浄、防火用水等で用水 を利用する効果	
	水辺環境整備効果	101	関連事業により整備される施設周辺 の環境整備による効果	
	計	150,851		

事業名  経営体育成基盤整備	都道府県名	北海道	地区名	高島南
----------------	-------	-----	-----	-----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,115,389 千円	
年 効 用		171,155 千円	
廃 用 損 失 額		101,168 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0533	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,109,995 千円	
費用便益比	= ÷	1.47	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	13,931	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単位収量の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、メロン
営農経費の節 減	営農経費節減効果	78,347	ほ場の大区画化による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、メロン
	維持管理費節減効果	21,142	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う維持管理費の軽減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	38,306	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環 境の保全・向 上	安全性向上効果	705	関連事業により整備される施設周辺 の安全施設設置による効果
	河川流況安定効果	18,547	関連事業で整備される施設により河 川への影響が低減される効果
	地域用水効果	109	関連事業で整備される施設によりか 農作物等の洗浄、防火用水等で用水 を利用する効果
	水辺環境整備効果	68	関連事業により整備される施設周辺 の環境整備による効果
	計	171,155	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	長都遠軽
-----------------	-------	-----	-----	------

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		3,069,633 千円	
年 効 用		214,143 千円	
廃 用 損 失 額		115,464 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,141,852 千円	
費用便益比	= ÷	1.34	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	19,480	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単位収量の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、ネギ
営農経費の節 減	営農経費節減効果	59,624	ほ場の大区画化による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、ネギ
	維持管理費節減効果	19,494	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う維持管理費の軽減 対象施設:農業用用排水路、農道
	走行経費節減効果	1,861	農道整備に伴う農産物の流通や通作 の効率化
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更新効果	102,346	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環 境の保全・向 上	一般交通等走行経費節減 効果	368	農道整備に伴う走行車両経費の節減
	安全性向上効果	2,211	関連事業により整備される施設周辺 の安全施設設置による効果
	公共施設保全効果	8,759	関連事業の補償工事に伴い補償対象 施設の耐用年数が増加し、当該地域 の利便性が付随的に向上する効果
	計	214,143	

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	杵臼南部

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		9,583,354 千円	
年 効 用		732,019 千円	
廃用損失額		368,950 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	13,956,275 千円	
費用便益比	= ÷	1.45	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	62,064	水田の排水改良等による転作作物の面積拡 大や単位収量の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、馬鈴薯、か ぼちゃ、メロン
	荷痛み防止効果	1,326	舗装整備による輸送作物の荷痛み防止
	防 じ ん 効 果	1,270	舗装整備による防塵被害改善
営農経費の節減	営農経費節減効果	120,714	は場の排水性改善に伴う労働時間の短縮や 機械経費の節減
	維持管理費節減効果	188,465	農業用用排水施設等の改修による維持管理 費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
	営農に係る走行経 費節減効果	7,967	農道整備に伴う農産物の流通や通作の効率 化
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	318,393	老朽化した施設の更新による従前の農業生 産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	一般交通等走行経 費節減効果	237	一般車輌における走行性改善による経費節 減
	安全性向上効果	6,037	関連事業により整備される施設周辺の安全 施設設置による効果
	公共施設保全効果	24,312	関連事業の補償工事に伴い補償対象施設の 耐用年数が増加し、当該地域の利便性が付 随的に向上する効果
	水辺環境整備効果	1,234	関連事業により整備される施設周辺の環境 整備による効果
	計	732,019	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	昭栄
-----------------	-------	-----	-----	----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,372,346 千円	
年 効 用		137,195 千円	
廃用損失額		9,859 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		36 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,502,870 千円	
費用便益比	= ÷	1.05	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	20,809	水田の排水改良等による単位収量の 増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、かぼ ちゃ、メロン
営農経費の節 減	営農経費節減効果	24,189	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、かぼ ちゃ、メロン
	維持管理費節減効果	30,576	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	61,621	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
	計	137,195	

事業名 経営体育成基盤整備	都道府県名	北海道	地区名	北部
---------------	-------	-----	-----	----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		4,242,457 千円	
年 効 用		222,828 千円	
廃用損失額		90,118 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		46 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0495	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,411,458 千円	
費用便益比	= ÷	1.03	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容		
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	17,138	水田の排水改良等による単位収量の 増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆、 ブロッコリー、トマト		
営農経費の節 減	営農経費節減効果	22,294	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆、 ブロッコリー、トマト		
	維持管理費節減効果	59,232	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路		
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	79,375	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路		
地域の生活環 境の保全・向 上	公共施設保全効果	6,947	関連事業の補償工事に伴い補償対象 施設の耐用年数が増加し、当該地域 の利便性が付随的に向上する効果		
	河川流況安定効果	36,309	関連事業で整備される施設により河 川への影響が低減される効果		
	洪水被害軽減効果	1,533	関連事業により整備されるダムによ り洪水被害が軽減される効果		
	計	222,828			

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		4,575,370 千円	
年 効 用		241,395 千円	
廃用損失額		82,875 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		45 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0502	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,725,790 千円	
費用便益比	= ÷	1.03	

項	目	年効果額 (千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	20,321	水田の排水改良等による単位収量の 増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆、 プロッコリー、トマト
営農経費の節 減	営農経費節減効果	28,600	ほ場の排水性改善に伴う労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、小豆、 プロッコリー、トマト
	維持管理費節減効果	69,042	農業用用排水施設の改修に伴う維持 管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	82,980	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
地域の生活環 境の保全・向 上	公共施設保全効果	6,350	関連事業の補償工事に伴い補償対象 施設の耐用年数が増加し、当該地域 の利便性が付随的に向上する効果
	河川流況安定効果	32,721	関連事業で整備される施設により河 川への影響が低減される効果
	洪水被害軽減効果	1,381	関連事業により整備されるダムによ リ洪水被害が軽減される効果
	計	241,395	

┃事業名│ 経営体育成基盤整備事業 ┃都道府県名│ 北海道 ┃地区名│ 大沼南
---

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,071,000 千円	
年 効 用		82,104 千円	
廃用損失額		44,341 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		39 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0528	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,510,659 千円	
費用便益比	= ÷	1.41	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	35,602	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、小麦、にんじん、 たまねぎ
営農経費の節 減	営農経費節減効果	13,746	ほ場の排水性の改善による労働時間 の短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、にんじん、 たまねぎ
	維持管理費節減効果	3,207	農業用用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	29,549	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
	計	82,104	

## 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		4,131,416 千円	
年 効 用		223,917 千円	
廃用損失額		148,236 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		41 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0516	総合耐用年数に応じた効用から総便 益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,191,241 千円	
費用便益比	= ÷	1.01	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
		,	対未の内台
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	12,018	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大 や単収の増加 対象作物:水稲、小麦、タマネギ、 かぼちゃ、メロン、にんじん
営農経費の節 減	営農経費節減 効果	13,536	ほ場の排水性の改善や用水整備による労働時間の短縮による縮減 対象作物:水稲、小麦、タマネギ、 かぼちゃ、メロン、にんじん
	維持管理費節 減効果	89,902	農業用用排水施設の改修、統廃合に伴う施設 の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更新効果	106,570	老朽化した施設の更新による従前の農業生産 の維持 対象施設:農業用用排水路
地域の生活環 境の保全・向 上	安全性向上効果	176	用水路の暗渠化による事故率の減少
	河川流況安定 効果	107	関連事業により整備された施設の設置に伴う 取水量の増加で河川への還元水が増加することにより、河川流況安定する効果
	公共施設保全 効果	41	関連事業の施設整備に伴い付け替えられる道路の耐用年数が増加し、付随的に発生する維持管理節減や一般交通等経費節減、更新効果
	地域用水効果	603	農業用水を生活用水及び防火用水施設に利用 することにより、施設の設置費が節減が図ら れる効果
	水辺環境整備 効果	964	関連事業により整備された施設の付帯工(魚 道)や施設周辺の修景整備による効果
盲	†	223,917	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		4,465,052 千円	
年 効 用		255,402 千円	
廃用損失額		82,791 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		43 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0507	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,954,724 千円	
費用便益比	= ÷	1.10	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産 量の増加	作物生産効果	16,970	水田の排水改良等による単位収量の 増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、馬鈴 薯、かぼちゃ、ほうれん そう
営農経費の節 減	営農経費節減効果	120,644	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆、馬鈴 著、かぼちゃ、ほうれん そう
	維持管理費節減効果	29,995	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新によ る従前の農業 生産の維持	更 新 効 果	86,609	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環 境の保全・向 上	地域用水効果	1,059	農業用水を生活用水及び防火用水施 設に利用することにより、施設の設 置費の節減が図られる効果
	景観保全効果	125	関連事業により整備される施設周辺 の修景整備による効果
	計	255,402	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	河南4期	
-----------------	-------	-----	-----	------	--

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,032,000千円	
年 効 用		78,831千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,425,515千円	
費用便益比	= ÷	1 . 3 8	

項		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	5,707	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、大麦、未成 熟トウモロコシ、キャベツ、白菜、 枝豆、プロッコリー
営農経費の節減	営農経費節減効果	63,481	ほ場の大区画化、排水改良等に伴う ほ場条件の改善による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	4,316	農業用用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減対象施設:農業用用排水路、農道、 揚水機
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	5,327	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、揚水機
	計	78,831	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	玉浦中部2期	Ī
-----------------	-------	-----	-----	--------	---

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,237,000千円	
年 効 用		130,530千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,294,025千円	
費用便益比	= ÷	1 . 8 5	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	3,810	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、大麦、ね ぎ、馬鈴薯、未成熟トウモロコシ、 きゅうり
営農経費の節減	営農経費節減効果	121,282	ほ場の大区画化、排水改良等に伴う ほ場条件の改善による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆、大麦
	維持管理費節減効果	1,872	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道、 揚水機
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	3,566	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
	計	130,530	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,912,082千円	
年 効 用		134,908千円	
廃用損失額		4 6 5 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,370,502千円	
費用便益比	= ÷	1 . 2 3	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	5,997	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、小麦、大豆、牧 草、ほうれん草、なす、トマト、キュウリ
営農経費の節減	営農経費節減効果	114,944	ほ場の大区画化、排水改良等に伴う ほ場条件の改善による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、小麦、大豆
	維持管理費節減効果	2,169	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道等
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	11,798	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道等
	計	134,908	

事業名  経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮城県	地区名	下志田2期
------------------	-------	-----	-----	-------

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,649,000千円	
年 効 用		164,264千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,008,498千円	
費用便益比	= ÷	1 . 8 2	

項	I	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	4,652	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、小麦、牧 草、ほうれん草、大根、なす、ねぎ
営農経費の節減	営農経費節減効果	146,073	ほ場の大区画化、排水改良等に伴う ほ場条件の改善による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆、小麦
	維持管理費節減効果	5,617	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	7,922	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
	計	164,264	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		7,257,600千円	
年 効 用		586,045千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から 総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	11,468,591千円	
費用便益比	= ÷	1 . 5 8	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	65,595	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、枝豆、アス パラガス、白菜、ほうれん草、トマ ト
営農経費の節減	営農経費節減効果	411,160	ほ場の大区画化、排水改良等に伴う ほ場条件の改善による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆
	維持管理費節減効果	60,901	農業用用排水施設等の改修に伴う施 設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	45,945	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	地籍確定効果	2,444	将来国土調査を行う予定であるが本 事業を実施した場合に行う換地作業 により地籍が明確となる効果
	計	586,045	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		3,316,950千円	
年 効 用		273,077千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0507	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5,386,134千円	
費用便益比	= ÷	1 . 6 2	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	25,712	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、カボチャ、 トマト、枝豆、アスパラガス
営農経費の節減	営農経費節減効果	193,137	ほ場の大区画化、排水改良等に伴う ほ場条件の改善による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆
	維持管理費節減効果	26,444	農業用用排水施設等の改修に伴う施 設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	26,725	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	地籍確定効果	1,059	将来国土調査を行う予定であるが本 事業を実施した場合に行う換地作業 により地籍が明確となる効果
	計	273,077	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	秋田県	地区名	甇	野
-----------------	-------	-----	-----	---	---

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,976,100千円	
年 効 用		3 6 3 , 5 5 4 千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 0 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6,089,682千円	
費用便益比	= ÷	3.08	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	50,857	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、枝豆、アス パラガス、そら豆、ほうれん草、ト マト
営農経費の節減	営農経費節減効果	247,811	排水改良等でほ場条件が改善される ことによる労働時間の短縮や機械経 費の節減 対象作物:水稲、大豆
	維持管理費節減効果	20,275	農業用用排水施設等の改修に伴う施 設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	44,611	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
	計	363,554	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,836,000千円	
年 効 用		118,392千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,110,374千円	
費用便益比	= ÷	1 . 1 4	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	7,266	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、大麦、いち じく、かぼちゃ、きゅうり、トマト
営農経費の節減	営農経費節減効果	100,698	は場の大区画化、排水改良等に伴う は場条件の改善による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲
	維持管理費節減効果	2,540	農業用用排水施設等の改修に伴う施 設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	7,888	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
	計	118,392	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	大 貫
-----------------	-------	-----	-----	-----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,663,050千円	
年 効 用		148,215千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0539	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,749,814千円	
費用便益比	= ÷	1.03	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の 増加	作物生産効果	13,927	排水改良等ほ場条件の改善に伴う 作付拡大および水管理の合理化や 用水改良に伴う干害防止による収 量増 対象作物:水稲,飼料作物,いち ご,トマト,かんしょ,大豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	106,050	は場の大区画化、排水改良等に伴うほ場条件の改善による労働時間の短縮、機械経費節減対象作物:水稲,飼料作物,いちご,トマト,かんしょ
	維持管理費節減効果	20,631	農道及び農業用用排水施設の新設 ・改修に伴う維持管理費の節減 対象施設:農道,農業用用排水路
施設更新による従 前の農業生産の維 持	更 新 効 果	6,461	老朽化した施設の更新による旧施 設機能の継続 対象施設:農道,農業用用排水路
地域の生活環境の 保全・向上	地 籍 確 定 効 果	9 9 6	区画整理の実施に伴う換地作業に より地積が明らかになる効果
	水辺環境整備効果	1 5 0	魚類等に配慮した施設とすること により、生態系が保全される効果 対象施設:農業用排水路
	計	148,215	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	茨城県	地区名	黒子
-----------------	-------	-----	-----	----

## 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,217,000千円	
年 効 用		201,777千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,648,770千円	
費用便益比	= ÷	1 . 6 4	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の 増加	作物生産効果	8,576	排水改良等ほ場条件の改善に伴う 作付拡大および水管理の合理化に よる収量増 対象作物:水稲,小麦,大麦,大豆, そば
営農経費の節減	営農経費節減効果	148,677	は場の大区画化、排水改良等に伴うほ場条件の改善による労働時間の短縮、機械経費の節減対象作物:水稲,小麦,大麦,大豆,そば
	維持管理費節減効果	11,828	用水機場の新設、農業用用排水路 ・農道の改良に伴う維持管理費の 増減額 対象施設:用水機場,農業用用排 水路,農道
施設更新による従 前の農業生産の維 持	更 新 効 果	26,051	老朽化した施設の更新による旧施 設機能の継続 対象施設:農業用用排水路
地域の生活環境の 保全・向上	非農用地等創設効果	1,049	換地手法を用いて計画的かつ円滑 に非農用地を創設することによる 経費の節減 対象:施設用地
	水辺環境整備効果	5,596	環境に配慮した施設とすることにより、水辺環境が保全・創造される効果 対象施設:農業用排水路,調整池
	計	201,777	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名 栃木県	地区名 小貝川沿岸 2 期
-----------------	-----------	---------------

# 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		5 , 5 1 3 , 0 0 0 千円	
年 効 用		3 1 8 , 7 3 4 千円	
廃 用 損 失 額		5 , 7 9 3 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		46年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0495	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	6,433,278千円	
費用便益比	= ÷	1 . 1 6	

項		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	作物生産効果	14,528	水田の排水改良等による転作作物 の面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲,大豆,トマト,き ゅうり,なす
営農経費の節減	営農経費節減効果	279,557	は場の大区画化による労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲,大豆,トマト,き ゅうり,なす,だいこん,じゃがい も,はくさい
	維持管理費節減効果	4 , 8 4 0	農業用用排水施設等の改修・統廃 合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設:農業用用排水路,農道
施設更新による従 前の農業生産の維 持	更 新 効 果	2,488	老朽化した施設の更新による従前 の農業生産の維持 対象施設:揚水機
地域の生活環境の 保全・向上	非農用地等創設効果	3 , 4 9 1	換地手法を用いた合理的かつ経済 的な用地取得による経費節減 対象施設:町道,施設用地
	地籍確定効果	2,925	区画が整形化され、換地事業によ り地籍が明確になる効果
	文化財発見効果	9 , 4 3 5	埋蔵文化財が具現化されるととも に、文化的価値が明確になり、貴 重な文化遺跡が後世に継承される
	水辺環境整備効果	1,470	排水路の一部を魚類等の生息環境 に配慮した深み水路、魚道落差工 等とすることによる水辺環境保全 対象施設:農業用排水路
	計	3 1 8 , 7 3 4	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名 栃	栃木県 地区名	美田中部
-----------------	---------	---------	------

## 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,052,000千円	
年 効 用		124,467千円	
廃 用 損 失 額		25,245千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0572	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,150,752千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 4	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の 増加	作物生産効果	71,633	水田の排水改良等による転作作物 の面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲,大豆,トマト,な す きゅうり,はくさい,だいこん
	品質向上効果	1,778	農道の舗装により農産物の運搬の際の損傷が軽減され、品質が向上する効果 対象作物:トマト,なす,きゅうり
営農経費の節減	維持管理費節減効果	16,826	農業用用排水施設等の改修・統廃 合に伴う施設の維持管理費節減 対象施設:農業用用排水路,農道
	営農に係る走行経費 節減効果	3,297	農道が改良されることにより、農産物の生産並びに流通に係わる輸送経費が節減される効果対象施設:農道
施設更新による従 前の農業生産の維 持	更 新 効 果	30,135	旧施設の機能に代替する部分の評価 対象施設:農業用用排水路,農道 揚水機
地域の生活環境の 保全・向上	水辺環境整備効果	7 9 8	農業用用排水路の一部を魚類等の 生息環境に配慮した石積み水路や 深み水路等とすることによる水辺 環境保全 対象施設:農業用用排水路
	計	124,467	

事業名	経営体育成基盤整備事業	都道府県名	群馬県	地区名	世良田
77	<b>远口怀日以坐血正阳于未</b>		カナシカンに	76 FC TI	ЕКЩ

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,101,000千円	
年 効 用		88,529千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		44年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0503	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,760,020千円	
費用便益比	= ÷	1 . 5 9	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の 増加	作物生産効果	5,517	水管理の合理化、排水改良等による作付面積拡大や単収の増加対象作物:水稲,小麦,ごぼう,えだまめ,ねぎ,ほうれん草
営農経費の節減	営農経費節減効果	59,557	は場の大区画化による労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲,小麦,ごぼう,え だまめ,ねぎ,ほうれん草
	維持管理費節減効果	1 , 1 5 9	農業用用排水施設等の改修に伴う 施設の維持管理費節減 対象施設:農業用用排水路,農道
	営農に係る走行経費 節減効果	1 , 7 5 0	は場内農道整備による営農に係る 走行経費の節減 算定範囲:農業輸送,通作
施設更新による従 前の農業生産の維 持	更 新 効 果	8 , 5 7 2	老朽化した施設の更新による従前 の農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路,農道
地域の生活環境の 保全・向上	非農用地等創設効果	1 6 4	換地手法を用いた合理的かつ経済 的な用地取得による経費節減 対象施設:公園用地等
	地籍確定効果	7 9 4	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる効果 対象区域:地区全域
	文化財発見効果	11,016	埋蔵文化財が具現化され、その文 化的価値が明確となる 対象区域:農業用用排水路・農道 敷き
	計	88,529	

## 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,076,000千円	
年 効 用		68,439千円	
廃 用 損 失 額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		30年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0597	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,146,382千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 6	

項	Ш	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の 増加	作物生産効果	9,127	水田の排水改良等に伴う転作作物 の面積拡大による収量増 対象作物:小麦,大豆,野菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	42,810	ほ場の大区画化による労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲,小麦,大豆,野菜
	維持管理費節減効果	9,717	農業用用排水施設の改良に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路
施設更新による従 前の農業生産の維 持	更 新 効 果	3,949	老朽化した施設の更新による従前 の農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
地域の生活環境の 保全・向上	安全性向上効果	1,477	農業用排水路横断箇所へのガード レール設置による安全性の向上 対象施設:農業用排水路
	文化財発見効果	8 1 6	基盤整備に伴い付随的に埋蔵文化 財が具現化されると共に、発掘調 査により文化的価値が明確となる 効果
	水辺環境整備効果	5 4 3	排水路の一部を生態系に配慮した 水路とすることによる水辺環境の 保全 対象施設:農業用排水路
	計	68,439	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,335,000千円	
年 効 用		96,463千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,719,483千円	
費用便益比	= ÷	1 . 2 8	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の 増加	作物生産効果	26,435	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加対象作物:水稲,とうもろこし,飼料作物,食用ナバナ,トマト,ししとう,ばれいしょ,落花生,かんしょ,しゅんぎく,プロッコリー
営農経費の節減	営農経費節減効果	67,930	ほ場の大区画化による労働時間の 短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲
	維持管理費節減効果	7 6 3	農業用用排水施設等の新設に伴う施設の維持管理費の増減 対象施設:揚水機,農業用用排水路,農道
地域の生活環境の 保全・向上	非農用地等創設効果	2 5 7	換地手法を用いた合理的かつ経済 的な用地取得による経費節減 対象施設:道路(市道)
	地籍確定効果	2,604	区画が整形化され、換地事業により地籍が明確になる 対象区域:地区全域
	計	96,463	

┃事業名│ 経営体育成基盤整備事業 ┃都道府県名│ 新潟県 ┃地区名│ 小 吉
---

## 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		3 , 7 3 6 , 7 4 0 千円	
年 効 用		227,760千円	
廃 用 損 失 額		3 1 , 5 1 2 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	4,028,381千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 7	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	25,033	水田の用排水分離、客土及び暗渠排 水等による転作作物の面積拡大や単 収の増加 対象作物:水稲、大豆、枝豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	157,259	ほ場の大区画化による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆、枝豆
	維持管理費節減効果	187	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
	営農に係る走行経費 節減効果	4 7	関連事業により排水路管理用道路 (兼農道)が整備されるに伴い営農 走行経費が軽減される効果 対象施設:排水路管理道路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	40,900	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	3 9	換地手法により、公共用地等の非農 用地を創設することにより、合理的 かつ経済的に用地を取得できる効果
	公共施設保全効果	4,426	補償施設として付け替えた橋梁の耐用年数が増加することにより付随的に発現する維持管理費の節減や従来機能が継続する効果
	地籍確定効果	7	区画が整形化され、地籍が明らかに なる効果
	水辺環境整備効果	2 3 6	農業用排水路を親水性等環境に配慮 した施設にすることによる水辺環境 が保全、創造される効果 対象施設:農業用排水路
	計	227,760	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県 坩	地区名	小中川
-----------------	-------	-------	-----	-----

#### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,129,169千円	
年 効 用		126,759千円	
廃 用 損 失 額		14,931千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0569	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,212,819千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 3	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	21,095	水田の用排水分離、客土及び暗渠排 水等による転作作物の面積拡大や単 収の増加 対象作物:水稲、大豆、枝豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	84,843	ほ場の大区画化による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆、枝豆
	維持管理費節減効果	1 , 7 1 1	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
	営農に係る走行経費 節減効果	2 9	関連事業により排水路管理用道路 (兼農道)が整備されるに伴い営農 走行経費が軽減される効果 対象施設:排水路管理道路
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	15,311	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	2,749	補償施設として付け替えた橋梁の耐 用年数が増加することにより付随的 に発現する維持管理費の節減や従来 機能が継続する効果
	地籍確定効果	8 7 5	区画が整形化され、地籍が明らかに なる効果
	水辺環境整備効果	1 4 6	農業用排水路を親水性等環境に配慮 した施設にすることによる水辺環境 が保全、創造される効果 対象施設:農業用排水路
	計	126,759	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	新潟県	地区名	潟4期
-----------------	-------	-----	-----	-----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		8,001,729千円	関連事業あり
年 効 用		460,130千円	
廃用損失額		7千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0553	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	8,320,608千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 3	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	49,263	水田の用排水分離、客土及び暗渠排 水等による転作作物の面積拡大や単 収の増加 対象作物:水稲、大豆、枝豆
営農経費の節減	営農経費節減効果	374,896	ほ場の大区画化による労働時間の短 縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆、枝豆
	維持管理費節減効果	1,867	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	33,728	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	1 , 1 2 6	換地手法を用いて、公共用地等の非 農用地を創設することにより、合理 的かつ経済的に用地を取得できる効 果
	公共施設保全効果	1	補償施設として付け替えた橋梁の耐 用年数が増加することにより付随的 に発現する維持管理費の節減や従来 機能が継続する効果
	地籍確定効果	2,983	区画が整形化され、地籍が明らかに なる効果
	計	460,130	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	富山県	地区名	大家庄東部
-----------------	-------	-----	-----	-------

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,130,608千円	
年 効 用		73,395千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 2 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0577	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,272,010千円	
費用便益比	= ÷	1 . 1 3	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
営農経費の節減	営農経費節減効果	17,920	農地の集積が図られることにより経 営規模等が拡大し、労働費、機械経 費、その他の生産資材費の節減 対象作物:水稲、大豆
	維持管理費節減効果	5,313	農業用用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減対象施設:農業用用排水路、農道
	営農に係る走行経費 節減効果	283	農道の拡幅改良による、一次輸送及 び通作交通車両に要する経費の節減 対象施設:農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	49,879	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
	計	73,395	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		5,676,100千円	
年 効 用		675,362千円	
廃用損失額		8,081千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		29年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.06079	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	11,101,674千円	
費用便益比	= ÷	1 . 9 6	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	15,123	水田の用排水分離、客土及び暗渠排 水等による転作作物の面積拡大や単 収の増加 対象作物:水稲、大麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	454,787	は場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲
	維持管理費節減効果	16,086	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	183,092	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	非農用地等創設効果	3,002	換地手法により先行的、計画的に公 共用地等を円滑に創設することで合 理的、経済的に用地取得できる効果 対象施設:区画整理
	地 積 確 定 効 果	1 , 0 1 8	区画整理により区画が整形化され、 地籍が明確になる効果 対象施設:区画整理
	水辺環境整備効果	2,254	農業用排水路を親水性等環境に配慮 した施設にすることにより豊かな生 態系が保全される効果 対象施設:農業用排水路
	計	675,362	

事業名  経営体育成基盤整備事業	都道府県名	滋賀県	地区名	上平木
------------------	-------	-----	-----	-----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,352,200千円	
年 効 用		121,697千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 4 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0561	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,169,287千円	
費用便益比	= ÷	1 . 6 0	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	6,467	水田の用水改良等による転作作物の面 積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大豆、小麦、キュウリ、 白菜
営農経費の節減	営農経費節減効果	90,530	ほ場の大区画化による労働時間の短縮 や機械経費の節減 対象作物:水稲、大豆、小麦、キュウリ、 白菜
	維持管理費節減効果	2,469	農業用用排水施設等の改修に伴う施設 の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更新効果	20,265	老朽化した施設の更新による従前の農 業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	水辺環境整備効果	5 7 8	農業用排水路の一部路線を動植物の生息に配慮した整備を行うことによる水辺環境の保全効果 対象施設:農業用排水路
	地籍確定効果	1,184	ほ場整備により区画が整形化され、地 籍が確定することによる効果
	文化財発見効果	2 0 4	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具現 化され、発掘調査により文化的価値が 明確になる効果
	計	121,697	

経営体育成基盤整備事業 都道府県名 兵庫県 地区名 八幡
------------------------------

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,680,000千円	
年 効 用		106,180千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		28年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0620	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,712,581千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 1	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	7,874	水田の用水改良、暗渠排水による転 作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、大麦、大豆、小麦
営農経費の節減	営農経費節減効果	9,669	パイプライン化によるかん水管理時間の短縮及び乾田化等ほ場条件の改善による労働時間の短縮 対象作物:水稲
	維持管理費節減効果	26,514	農業用用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減対象施設:農業用用排水路
施設更新による 農業生産の維持	更 新 効 果	61,618	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路
地域の生活環境の保全・向上	水辺環境整備効果	5 0 5	農業用排水路の一部を自然動物の生息環境に配慮した水路とすることによる水辺環境保全効果対象施設:農業用排水路
	計	106,180	

事業名  経営体育成基盤整備事業	都道府県名	福岡県	地区名	上秋月
------------------	-------	-----	-----	-----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,305,000千円	
年 効 用		76,489千円	
廃用損失額		34,950千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,365,947千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 4	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	25,217	水田の用排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加対象作物:水稲、大豆、小麦、プロッコリー、ゴボウ、ニンジン、アスパラガス、ホウレン草、茶他
営農経費の節減	営農経費節減効果	36,403	は場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減対象作物:水稲、大豆、小麦、プロッコリー、コ゚ポウ、ニンジン、アスパラカ゚ス、ホウレン草、里芋
	維持管理費節減効果	1 7	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	9,902	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	非農用地等創設効果	5 8 5	換地手法により公共用地等を円滑に 創設し、用地交渉期間の短縮及び経 費の節減がなされる効果
	文化財発見効果	3 , 7 5 9	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具 現化され、発掘調査により文化的価 値が明確になる効果
	水辺環境整備効果	6 4 0	地域住民の生活環境の利便性向上、 都市住民等への「憩いの場」「やす らぎの場」等を提供できる等、水辺 環境が保全、創造できる効果
	計	76,489	

事業名 経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	跡江2期	
-----------------	-------	-----	-----	------	--

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		3,584,000千円	
年 効 用		194,608千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0507	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	3,838,422千円	
費用便益比	= ÷	1 . 0 7	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	45,820	水田の用排水改良等による転作作物 の面積拡大や単位収量の増加 対象作物:水稲、大根、キュウリ、 甘藷、牧草
営農経費の節減	営農経費節減効果	105,497	は場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物:水稲、大根、キュウリ、 甘藷、牧草
	維持管理費節減効果	3,829	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	32,098	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	非農用地等創設効果	7 7 8	換地手法により公共用地等を円滑に 創設し、用地交渉期間の短縮及び経 費の節減
	文化財発見効果	3 , 5 2 5	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具 現化され、発掘調査により文化的価 値が明確になる効果
	公共施設保全効果	2,252	補償施設として付け替えた林道の耐 用年数が増加することにより付随的 に発現する維持管理費の節減や従来 機能が継続する効果
	地積確定効果	8 0 9	区画が整形化され、地積が明確になる
	計	194,608	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2,105,000千円	
年 効 用		110,892千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0511	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2 , 1 7 0 , 0 9 7 千円	
費用便益比	= ÷	1.03	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	16,639	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、キュウリ、ニガウリ、大 根、ホウレン草、プロッコリー、菜花、イチコ゚、 飼料作物
営農経費の節減	営農経費節減効果	70,545	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減対象作物:水稲、キュウリ、ニガウリ、大根、ホウレン草、プロッコリー、菜花、イチゴ、飼料作物
	維持管理費節減効果	2,426	農業用用排水施設等の改修に伴う施 設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路、農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	19,830	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境 の保全・向上	非農用地等創設効果	2 8	換地手法により公共用地等を円滑に 創設し、用地交渉期間の短縮及び経 費の節減
	公共施設保全効果	1 , 4 2 4	補償施設として付け替えた林道の耐 用年数が増加することにより付随的 に発現する維持管理費の節減や従来 機能が継続する効果
	計	110,892	

事業名  経営体育成基盤整備事業	都道府県名	宮崎県	地区名	牟田原
------------------	-------	-----	-----	-----

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		1,230,000千円	
年 効 用		74,071千円	
廃用損失額		30,294千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		42年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0514	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,410,776千円	
費用便益比	= ÷	1 . 1 4	

項	目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	43,059	水田の排水改良等による転作作物の 面積拡大や単収の増加 対象作物:水稲、里芋、甘藷、苗 木、タパコ、コ゚ポウ、大根、ソパ、ニンシ゚ ン、ホウレン草、白菜、トマト、イチコ゚、生 姜、飼料作物
営農経費の節減	営農経費節減効果	4,837	は場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減対象作物:水稲、里芋、甘藷、タパコ、コ゚ポウ、大根、ニンジン、ホウレン草、飼料作物
	維持管理費節減効果	3 , 8 3 4	農業用用排水施設等の改修に伴う施設の維持管理費の節減対象施設:農業用用排水路、農道
	営農に係る走行経費 節減効果	1,768	農道の改良に伴う走行速度、車種転換等による走行経費の節減対象作物:里芋、甘藷、苗木、タパコ、コ゚ポウ、大根、ソパ、ニンジン、堆肥、飼料作物
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	20,437	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路、農道
地域の生活環境の保全・向上	公共施設保全効果	1 3 6	補償施設として付け替えた林道の耐用年数が増加することにより付随的に発現する維持管理費の節減や従来機能が継続する効果
	計	74,071	

### 1.費用便益比の算定

区分	算 定 式	数值	備考
総事業費		2 , 7 4 0 , 5 0 0 千円	
年 効 用		193,148千円	
廃用損失額		- 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 6 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+ 建設利息率)		0.0665	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,904,481千円	
費用便益比	= ÷	1.05	

項		年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量 の増加	作物生産効果	37,667	水田の用排水改良等による転作作物 の面積拡大や単収の増加 対象作物:早期水稲,かんしょ,か ぼちゃ,キャベツ,ゴボウ,飼料作 物
営農経費の節減	営農経費節減効果	98,995	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物:早期水稲,きゅうり,かんしょ,かぼちゃ,飼料作物
	維持管理費節減効果	16,727	農業用用排水施設等の改修、統廃合 に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設:農業用用排水路,農道
施設更新による 従前の農業生産 の維持	更 新 効 果	34,889	老朽化した施設の更新による従前の 農業生産の維持 対象施設:農業用用排水路,農道
地域の生活環境の保全・向上	文化財発見効果	3,848	基盤造成で付随的に埋蔵文化財が具 現化され、発掘調査により文化的価 値が明確になる効果
	水辺環境整備効果	1,022	地域住民の生活環境の利便性向上、 都市住民等への「憩いの場」「やす らぎの場」等を提供できる等、水辺 環境が保全、創造できる効果
_	計	193,148	